

つかむ

調べる

まとめる

深める

～価値の更新を意図した、公共交通機関の意味をめぐる意見交換の活動～

1. 小単元名『わたしたちの暮らしを支える政治』

(教科書：『小学社会 6 下』 p.4～17／学習指導要領：内容（2）ア）

2. 小単元の目標

地方公共団体や国の政治の働きについて調べ、国民の願いを実現し、生活の安定と向上を図るために、政治の働きと国民生活は密接にかかわっていることをとらえる。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、意欲的に調べようとしている。また、これからの政治のあり方について、関心をもって考えようとしている。	地方公共団体や国の政治の働きと国民生活とを関連付け、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現している。	地方公共団体や国の政治の働きについて必要な情報を集め、読み取っている。	地方公共団体や国の政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態

政治家や税金という言葉にマイナスのイメージをもっている子どもは少なくない。また、そもそも自分の生活と政治のはたらきがつながっていると感じていない子どももいる。そこで、教科書で取り上げられている施設や事柄を、子どもにとって身近なものに置き換えて具体的に学習することが重要であると考えた。

(2) 教材について

本小単元では、地域の公共施設を調べる活動から地方公共団体のはたらきを学ぶ。そして、そのはたらきを支えている税金について学んだあと、国の政治のはたらきへと視点を広げていく。本校では放課後に子どもを預かる「ミニ児童会館」が運営されている。そこで、このミニ児童会館がどのような経緯で本校に設置されたのかについて前半は追究していく。次に、これらの活動を支える税金の役割について考える。また、国会や内閣、裁判所の働きについても、選挙権年齢が18歳に引き下げられたことなどを取り上げ、具体的に学べるように工夫した。

そして、まとめる段階で税金の使い方についてももう一度考えることで、子どもの政治のはたらきに対する見方や考え方を高めることができる。

(3) 指導上の工夫・留意点

本小単元は、子どもにとって普段はあまり意識をしていない政治のはたらきについての学習である。そのため、ミニ児童会館を利用している人へのインタビュー等、具体的な活動を取り入れるように工夫した。また、インターネット等のICTを活用したり、税務署からゲストティーチャーを招いたりすることで理解を深められるようにした。

5. 小単元の指導（総時数8時間）

時数	ねらい	○学習活動 ☆内容
① (つかむ)	ミニ児童会館を通して政治のはたらきについて調べていこうとする意欲を高める。	○自分の周りにある政治のはたらきについて交流することで学習問題を生み、単元の見通しをもつ。 ☆政治のはたらきは地域住民の要望と結びついている。
① (調べる)	インタビュー活動を通して、地域の公共施設は住民の要望によってつくられていることを理解する。	○ミニ児童会館を利用している人や、そこで働いている人にインタビューを行う。 ☆ミニ児童会館があると安心して子どもを預けられ、保護者が働きやすい環境が整えられる。
① (調べる)	ミニ児童会館がつくられるまでの過程を理解する。	○札幌市役所の担当部署に質問を行い、ミニ児童会館がつくられるまでの過程を調べる。 ☆住民の要望から計画ができ、予算案が作られ市議会の議決を得ることでミニ児童会館がつけられた。
① (調べる)	税金はどのように集められて、どのように使われているのかを理解する。	○税務署からゲストティーチャーを招き、税金の役割について学ぶ。 ☆税金があるから、ミニ児童会館だけでなく、警察や消防等をみんなが平等に無料で利用することができる。
① (調べる)	国会は法律をつくったり国の予算を決めたりしていることを理解する。	○選挙権年齢が18歳に引き下げられるまでの過程を調べる。 ☆法律をつくったり国の予算を決めたりする重要な仕事を行うので、二つの議院で話し合い、国の政治の方針を慎重に決定している。
① (調べる)	内閣は国会で決められた法律や予算をもとに仕事を行ったり、予算案や法律案をつくったりしていることを理解する。	○国の予算と内閣の仕組みの資料を関連付けて読み取ることによって様々な府・省・庁の働きを調べる。 ☆厚生労働省は安心して子どもを産み育てることができる社会を目指して子育ての環境を整備している、等。
① (調べる)	裁判所は人々の間で争いごとや犯罪が起こった時に解決する仕事を行っていることや、権力が集中しないように三権が分立されていることを理解する。	○教科書や資料集、インターネット等をもとに裁判所の仕組みや三権分立について調べる。 ☆裁判の判決は重要な意味をもっているため、より公正で慎重な裁判が行われなければならない。そのためにも三権が分立されている。

① (まとめ)	政治のはたらきが国民生活の安定と向上を図っていることを理解する。	○利用者が減ってきているバス路線を税金で補助する意味を考えることで、政治のはたらきについて理解する。 ☆税金をどのように使うのか考えて政治が行われることで、自分たちの生活は支えられている。
------------	----------------------------------	---

6. 本時の指導（第8／8時）

(1) 本時のねらい

札幌市がバス事業の維持に税金を使っている意味を考える活動を通して、市民一人一人の暮らしに租税が大切な役割を果たしていることについて考え、政治のはたらきについて理解することができる。

(2) 本時における考え合い表現し合う活動と指導の留意点

バスや鉄道などの公共交通機関は、車を運転できない子どもや高齢者をはじめ、通勤通学に使う大人や学生にとって必要不可欠な移動手段である。しかし、近年のモータリゼーションの影響で利用客は減少の一途をたどっている。人口が190万人を超えている札幌市でも、税金で補助を出さないと公共交通機関を維持できないのである。

そこで、バス事業が税金の補助を受けて行われているという事実に対する考えを述べ合うことを通して、税金の意味やはたらきについての理解や考えを深めながら、「利用客が減ってきている＝社会に必要とされていない」から、「利用客は減ってきているけれども、社会に必要なものは政治のはたらきで支えていく」へと見方や考え方を変容させたいと考えた。

(3) 本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎資料 ◇留意点 ◆評価
8	○前時まで調べたことを整理する。 T：「税金・国会・選挙・内閣・裁判所・三権分立」のキーワードを使って学習をまとめましょう。 C：内閣は税金の使い方について考えている。 C：国会は税金の使い方をチェックしている。 C：権力が集中しないように、国会と内閣と裁判所がお互いの仕事を調べる役割がある。 T：札幌市の税金の使い方を決めているのはどこですか。 C：札幌市議会で決めています。	◎聞き取りメモ、ノート ◇一つの文章に多くのキーワードを入れるのではなく、2～3つの言葉を関連付けて簡潔な文章を書くように助言する。 ◆調べてきたことをもとに、政治のはたらきについて理解している。 (知・理／ノート)
5	○バスの乗車人員と走行キロ数の経年変化のグラフから学習問題を生む。 T：では、札幌市の税金の使われ方を見てください。これは札幌市のバス利用者数のグラフです。 C：30年前から比べると半分減っている。 T：バスが走っている距離はどうなっていると思いますか。	◇バスの利用者数の経年変化を折れ線グラフで提示する。 *資料は札幌市のHPより作成

<p>5</p>	<p>C : 走っている距離も半分に減っている。 C : バスが走っている距離は 30 年前から変わっていない。 T : 札幌市が補助として税金を出しているからです。平成 24 年度では 6 億円以上使われています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>利用者が減ってきているバス事業に札幌市が税金を使うのはどうしてだろう。</p> </div> <p>○ノートに自分の考えを書く。</p>	<p>◇予想を立てさせた後にバスの走行キロ数の経年変化を提示する。</p> <p>◎聞き取りメモ, ノート</p>
<p>15</p>	<p>○各自の考えを交流する。 T : それでは、みなさんの意見を聞かせてください。 C : バスが無くなると、車がない人が困る。 C : お父さんが会社に通うのが大変になる。 C : 自分も習い事に通えない。 C : おじいちゃんがバスで病院に通っているよ。 T : 利用者は減っているけれど、バスが無くなると困る人もたくさんいるということですね。 C : 札幌市はみんなが暮らしやすい街づくりを進めている。 C : 暮らしやすい街になればもっと人口も増える。 C : 公共交通機関は環境にも優しい。 T : だから札幌市は税金を使ってバス路線を残しているのですね。では、その他にはどのようなところで税金は使われていますか。 C : 警察署や消防署があるから安心して生活することができる。 C : 学校があるからみんな勉強することができる。 C : 円山動物園は、中学生以下だと無料で入ることができて楽しいよ。</p>	<p>◇行政の立場、市民の立場に分けて、子どもの意見を黒板にまとめていく。 ◇どのような場面でどのような人が困るのか、具体的な発言を引き出す。</p> <p>◇自分の身のまわりに視点を広げて考えることで、政治のはたらきと自分の生活とのつながりを実感できるようにする。</p>
<p>10 2</p>	<p>○わかったことをノートにまとめる。</p> <p>○まとめたことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>札幌市は税金を使ってわたしたちの暮らしを支えているんだね。</p> </div>	<p>◇全体交流ではなく、小グループでの交流も考えられる。 ◆自分の生活と札幌市の行政とのつながりを考え、適切に表現している。 (思・判・表/ノート)</p>